

疾患名

スティーブンス-ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症

病気について

高熱を伴い、眼・口唇・外陰部などの粘膜に出血やかさぶたをともなうただれ（びらん）や広範囲の皮膚に赤い斑と皮膚のただれ（びらん）が出現する重篤な疾患で、原因の多くは薬剤です。対表面積に対して皮膚がめくれる（剥離する）面積の割合が10%未満ではスティーブンス-ジョンソン症候群、それ以上では中毒性表皮壊死症といいます。

治療について

副腎皮質ステロイド薬投与を行います。重症の場合は、免疫グロブリン療法やステロイドパルス療法や血漿交換を行います。

アフェレシス療法の適用とその実施

保険適用：あり

アフェレシス療法の種類：血漿交換・二重濾過血漿分離交換

回数：週2～3回、連日あるいは隔日で行います。一連の治療につき8回までです。